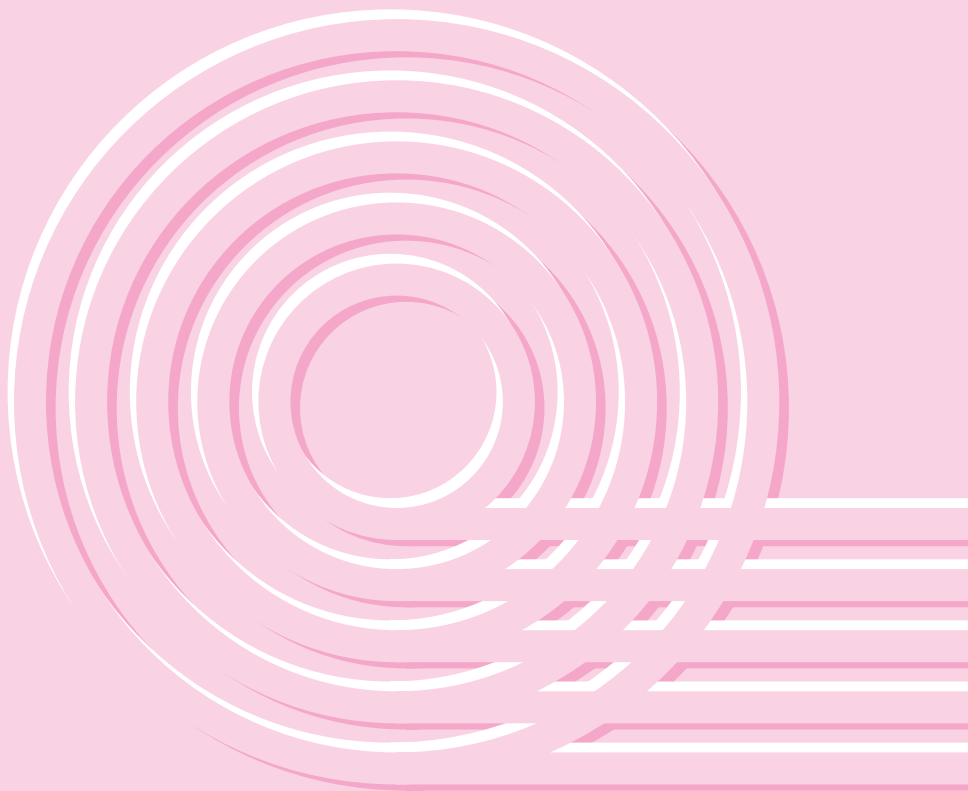


第99期



中間期 株主通信

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



株式会社 寺岡製作所

TOPICS

導電性銅箔両面テープの薄型化で、
携帯電話の小型化・多機能化をサポート

TERAOKAの導電性銅箔両面テープは、電気を通しやすい銅箔と導電性機能を付与した粘着剤を使用しているため、電子機器の電磁波シールド・アース取りをすることができます。従来から、デジタルカメラや携帯電話などの電子機器の内部で、部品同士が互いの電磁波などで誤作動を起こすことを防ぐために、使用されていました。

近年のデジタル機器の小型化、多機能化の流れの中で、例えば携帯電話の用途は通話からメール、カメラ機能へと拡大を続け、特に最近、テレビ視聴機能などが搭載されるようになり、電磁波による誤作動・画面へ及ぼす影響への対策が、限られたスペースの中でさらに必要となっています。

それにともない、電磁波対策のテープにも一層の薄さと性能が求められるようになりました。TERAOKAの導電性銅箔両面テープは、従来の製品比3分の2にあたる0.06mmの薄さです。小型化をサポートしながら、電磁波をシールドする役目もしっかりはたしています。

今後もこの動きはさらに進むものと思われ、今後も大きな市場が見込まれています。

これからもTERAOKAはおお客様のニーズにお応えしてまいります。



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当社第99期中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業の概要についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済につきましては、戦後最長とされる好景気が終焉に近づきつつあるなか、長期化する原油価格・素材価格の高騰や、サブプライムローン問題を発端とする米国経済の減速、更には国際的な大手金融機関の信用不安などが相次いで顕在化したことなどに加え、国内物価の上昇による消費の低迷とも相まって、景気の先行きに対する不透明感は一層強まりました。

このような経営環境のなか、当社は、製品の高品質化・高付加価値化、生産性の向上や環境保護などに努める一方、国内外において、顧客ニーズを適切に把握した、提案型の販売活動を精力的に展開した結果、いずれの製品部門における売上も、おしなべて順調に推移いたしました。

しかしながら、石油化学材料価格や天然ゴム価格などの原材料価格は、当中間期を通じて高止まりする状況が続いたことにより、全社を挙げてコストダウン、ならびに製品価格の引上げに取り組みましたものの、利益面においては極めて厳しい結果と相成りました。

当中間期の売上高は、129億88百万円（前年同期比6.8%増）となりました。また、営業利益は3億27百万円（前年同期比52.8%減）、経常利益は3億89百万円（前年同期比47.4%減）、中間純利益は2億5百万円（前年同期比50.5%減）となりました。

当中間期の業績を製品部門別に見ますと、以下のとおりとなります。

〈梱包・包装用テープ〉

梱包・包装用テープ部門につきましては、従来より注力してきた新たな取引先の開拓が功を奏した結果、同製品部門の売上高は、26億24百万円（前年同期比8.7%増）、全売上高に占める割合は20.2%となりました。

〈電機・電子用テープ〉

電機・電子用テープ部門につきましては、北京オリンピック開催に伴う特需は見られなかったものの、薄型テレビ、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、携帯型ゲーム機器などの民生用デジタル機器の需要は、前期に引き続き堅調でありました。同製品部門の売上高は、65億93百万円（前年同期比7.9%増）、全売上高に占める割合は50.8%となりました。

〈産業用テープ〉

産業用テープ部門につきましては、住宅着工件数の減少に伴い、建築関係のテープの売上が鈍化しましたが、P-カットテープ（ポリエチレンクロステープ）などの売上増などで補い、この結果、同製品部門の売上高は、37億71百万円（前年同期比3.8%増）、全売上高に占める割合は29.0%となりました。

今後の景気見通しにつきましては、原油価格・素材価格は下落基調に転じているものの、金融不安が実体経済に及ぼす影響から、景気後退懸念が一層強まるなか、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと思われまます。このようななか、当社は、引き続き一層のコストダウンに努め、電機・電子用テープを中心とした高付加価値の製品を創造していくほか、環境保護にも配慮しつつ、堅実な経営を実践してまいります。

なお、中間配当金につきましては、前年中間期と同様1株につき7円とさせていただきます。

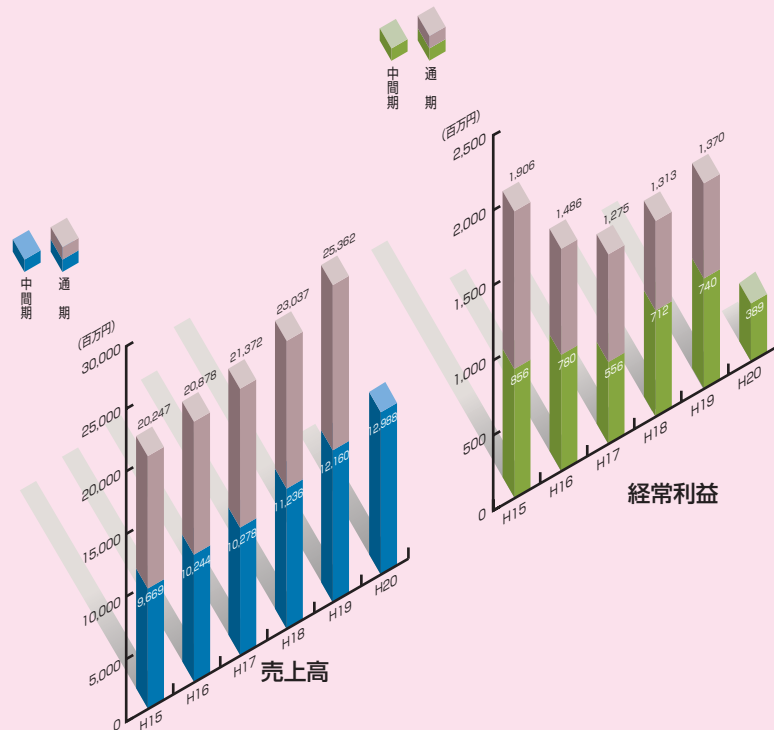
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月
代表取締役社長

寺岡敬之郎

期別 科目	前中間期 (平成19年9月中間期)	当中間期 (平成20年9月中間期)	前期 (平成20年3月期)
売上高	12,160 百万円	12,988 百万円	25,362 百万円
営業利益	693	327	1,262
経常利益	740	389	1,370
中間(当期)純利益	414	205	634
総資産	32,427	32,863	32,157
純資産	24,105	23,813	23,864
売上高営業利益率	5.7 %	2.5 %	5.0 %
売上高経常利益率	6.1	3.0	5.4
自己資本比率	74.3	72.5	74.2
1株当たり中間(当期)純利益	20.72 円	10.22 円	31.73 円
1株当たり純資産	1,205.60	1,185.89	1,195.40

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

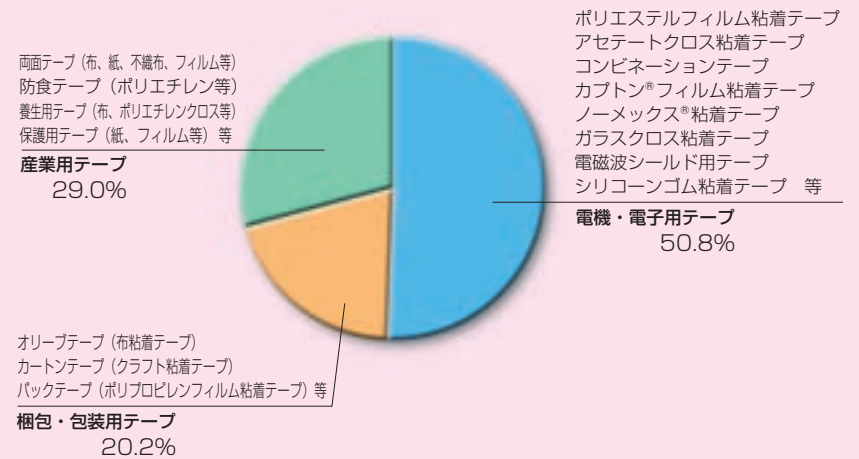


◎製品部門別売上状況

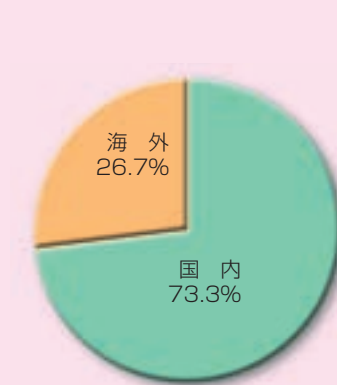
(単位：百万円)

期別 科目	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前年同期比 (%)	前期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
梱包・包装用テープ	2,414	2,624	8.7	5,173
電機・電子用テープ	6,112	6,593	7.9	12,550
産業用テープ	3,634	3,771	3.8	7,639
合計	12,160	12,988	6.8	25,362

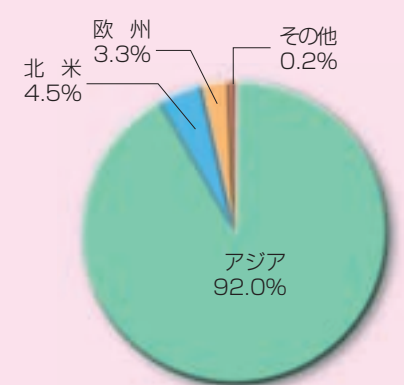
◎製品部門別売上内訳



◎地域別売上状況



◎海外地域別売上状況



中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 前中間期末 平成19年9月30日現在	当中間期末 平成20年9月30日現在	前期末 平成20年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	17,208	16,018	16,699
現金および預金	3,813	5,025	5,709
受取手形	4,048	3,669	3,832
売掛金	3,281	3,605	3,317
有価証券	2,497	—	—
商品および製品	797	714	774
原材料	850	975	901
仕掛品	1,433	1,476	1,655
貯蔵品	88	90	91
繰延税金資産	233	226	226
その他	165	236	192
貸倒引当金	△ 3	△ 1	△ 2
固定資産	15,219	16,844	15,457
有形固定資産	10,422	13,080	11,364
建物	2,006	1,923	1,997
構築物	176	152	162
機械および装置	3,174	2,727	3,021
車両運搬具	25	17	19
工具器具備品	304	260	284
土地	3,724	3,724	3,724
建設仮勘定	1,010	4,275	2,153
無形固定資産	395	260	332
投資その他の資産	4,400	3,503	3,760
投資有価証券	3,694	2,509	2,921
関係会社株式	445	525	445
関係会社出資金	33	33	33
繰延税金資産	—	181	48
その他	227	253	310
資産合計	32,427	32,863	32,157

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 前中間期末 21,592百万円 当中間期末 22,496百万円 前期末 22,063百万円
 2. 受取手形割引高 80百万円 69百万円 72百万円
 3. 中間期末日(期末日) 満期手形 受取手形 328百万円 一百万円 一百万円
 4. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	期別 前中間期末 平成19年9月30日現在	当中間期末 平成20年9月30日現在	前期末 平成20年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	7,941	8,961	8,175
支払手形	419	240	269
買掛金	3,892	4,019	4,444
短期借入金	1,000	1,000	1,000
未払金	687	692	749
未払法人税等	298	177	317
未払費用	600	623	573
その他	1,042	2,208	822
固定負債	380	87	117
長期未払金	117	87	117
繰延税金負債	263	—	—
負債合計	8,322	9,049	8,292
(純資産の部)			
株主資本	23,411	23,614	23,469
資本金	3,904	3,904	3,904
資本剰余金	3,489	3,489	3,489
資本準備金	3,489	3,489	3,489
利益剰余金	16,094	16,221	16,174
利益準備金	635	635	635
その他利益剰余金	15,458	15,586	15,538
固定資産圧縮積立金	9	221	221
固定資産圧縮特別勘定積立金	229	—	—
別途積立金	11,170	11,170	11,170
繰越利益剰余金	4,050	4,194	4,147
自己株式	△ 76	△ 0	△ 98
評価・換算差額等	694	199	395
その他有価証券評価差額金	694	199	395
純資産合計	24,105	23,813	23,864
負債および純資産合計	32,427	32,863	32,157

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前中間期	当中間期	前 期
		平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売 上 高		12,160	12,988	25,362
売 上 原 価		9,360	10,395	19,849
売 上 総 利 益		2,800	2,592	5,513
販売費および一般管理費		2,107	2,265	4,250
営 業 利 益		693	327	1,262
営 業 外 収 益		60	84	173
営 業 外 費 用		13	22	65
経 常 利 益		740	389	1,370
特 別 利 益		—	—	1
特 別 損 失		97	85	373
税引前中間(当期)純利益		643	304	998
法人税、住民税および事業税		228	99	465
法人税等調整額		—	—	△ 101
中 間 (当 期) 純 利 益		414	205	634

前中間期 当中間期 前期

(注) 1. 営業外収益の主要項目
受取利息 7百万円 3百万円 19百万円
2. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

項 目	株 主 資 本						
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金 計	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計			
平成20年3月31日残高	3,904			3,489		△ 98	23,469
中間会計期間中の変動額							
自己株式の処分						97	79
剰余金の配当					△ 139	△ 139	△ 139
中間純利益				205	205		205
自己株式の取得						△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)							
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	47	47	97	145
平成20年9月30日残高	3,904			3,489		△ 0	23,614
項 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	純 資 産 合 計		
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 差 額 金	換 算 差 額 金				
平成20年3月31日残高			395	395	23,864		
中間会計期間中の変動額							
自己株式の処分					79		
剰余金の配当					△ 139		
中間純利益					205		
自己株式の取得					△ 0		
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△ 195			△ 195	△ 195		
中間会計期間中の変動額合計	△ 195			△ 195	△ 50		
平成20年9月30日残高		199		199	23,813		

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

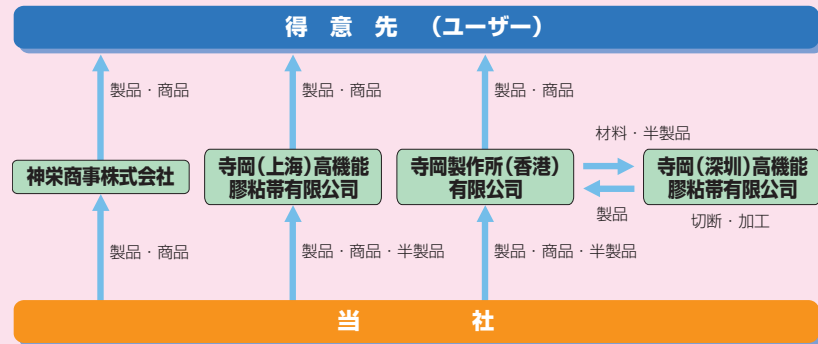
連結財務情報（ご参考）

科 目	期 別 前中間期 (平成19年9月中間期)	当中間期 (平成20年9月中間期)	前 期 (平成20年3月期)
連結売上高	12,504 百万円	13,395 百万円	25,945 百万円
連結営業利益	831	459	1,540
連結経常利益	892	536	1,538
連結中間（当期）純利益	497	320	758
連結総資産	33,138	33,752	32,696
連結純資産	24,658	24,444	24,343
1株当たり中間（当期）純利益	24.90 円	15.96 円	37.93 円
1株当たり純資産	1,233.30	1,217.29	1,219.37
営業活動によるキャッシュ・フロー	970 百万円	759 百万円	2,300 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 945	△ 896	△ 748
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82	△ 171	△ 262
現金および現金同等物の中間期末（期末）残高	4,767	5,810	6,039

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

◎連結対象会社

- 連結子会社 寺岡製作所（香港）有限公司
寺岡（上海）高機能膠粘帯有限公司
寺岡（深圳）高機能膠粘帯有限公司
神栄商事株式会社



会社の概要（平成20年9月30日現在）

社名 株式会社 寺岡製作所
TERAOKA SEISAKUSHO CO.,LTD.
創業 大正10年2月11日
設立 昭和18年5月5日
資本金 3,904百万円
従業員数 560名

主な事業所
本社 東京都品川区広町一丁目4番22号
(〒140-8711)
TEL (03) 3491-1141
FAX (03) 3491-1286
支店 東京・大阪・名古屋
営業所 仙台・大宮・福岡
工場 茨城・佐野・大宮・函南
研究所 東京
子会社 寺岡製作所（香港）有限公司
寺岡（上海）高機能膠粘帯有限公司
寺岡（深圳）高機能膠粘帯有限公司
神栄商事株式会社

株式の状況（平成20年9月30日現在）

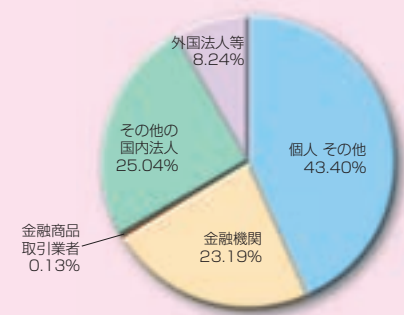
発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 20,081,955株
株主数 2,294名
大株主（上位10名）

株主名	持株数 千株	出資比率 %
寺岡製作所取引先持株会	1,697.3	8.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,099.1	5.47
株式会社三菱東京UFJ銀行	976.8	4.86
寺岡敬之郎	879.5	4.37
株式会社りそな銀行	678.8	3.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	599.4	2.98
寺岡くに子	526.0	2.61
アールピーシーデクシアインバスターサービス ーストラスト、ロンドンクライアントアカウント	470.8	2.34
寺岡製作所従業員持株会	400.0	1.99
エスジーエスエス／エスジー ピーティールクス	326.0	1.62

役員（平成20年9月30日現在）

- 代表取締役社長 寺岡 敬之郎
常務取締役 西村 敏信
取締役 武井 邦之
取締役 川口 健男
取締役 高木 清博
取締役 渡邊 順
取締役 野見山 豊
常勤監査役 服部 元昭
監査役 堂本 浩治
監査役 市川 純一
監査役 西村 敏之

所有者別保有状況



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
配当金をお支払いする株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合 9月30日)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 (下記お知らせご参照)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページアドレス http://www.teraokatape.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	4987

お知らせ

【株券電子化後の株式に関するお届け先及びご照会先について】

平成21年1月5日（予定）に株券電子化となります。その後のご住所変更のお届出及びご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三菱UFJ信託銀行株式会社にて口座（特別口座といいます。）を開設いたします。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株式会社 寺岡製作所

〒140-8711 東京都品川区広町一丁目4番22号

<http://www.teraokatape.co.jp/>